

社会のサポート・取り組み など

認知症になっても、住み慣れた地域で、安心して、自分らしく暮らし続けることができるよう、いわき市にはさまざまなサポートや取り組みがあります。また、それぞれが連携して、認知症のご本人やご家族の生活を支える仕組みを築いています。

相談

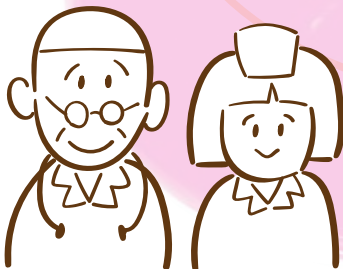


- ・ 地域包括支援センター
- ・ 地区保健福祉センター
- ・ 認知症初期集中支援チーム
- ・ ものわすれ相談会



本人

医療



- ・ 認知症疾患医療センター 舞子浜病院・四倉病院
- ・ 認知症の診療を行っている専門医療機関
- ・ 認知症サポート医
- ・ かかりつけ医
- ・ 認知症対応薬局

介護



- ・ 居宅介護サービス
- ・ 施設介護サービス
- ・ 地域密着型サービス

集う

- ・ ミーティングセンター
- ・ オレンジカフェ以和貴
- ・ つどいの場
- ・ 認知症の人と家族の会

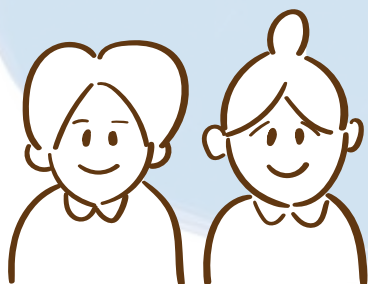
学ぶ

- ・ 認知症サポーター養成講座
- ・ VR 認知症体験

支える

- ・ 認知症地域支援推進員
- ・ 徘徊高齢者家族支援サービス
- ・ はいかい高齢者等 SOS ネットワーク事業
- ・ 成年後見制度
- ・ 配食サービス
- ・ 緊急通報システム

地域



家族



相談

これらの窓口には、保健師・社会福祉士などの専門職や、ケースワーカー（相談員）がいます。認知症が気になる、制度やサポートを知りたいなどの相談に応じます。

地域包括支援センター

地域に暮らす高齢者の保健・医療・介護・福祉などをサポートする総合相談窓口です。認知症地域支援推進員や認知症初期集中支援チーム等を中心とした専門職による認知症の方への支援や、成年後見制度の利用支援も実施しています。

地区保健福祉センター

いわき市では、福祉業務に携わるケースワーカーと、保健活動を行う保健師などを併せて配置し、市民により身近な地域の中で、保健・福祉サービスを一体的に提供できるよう市内7か所に設置しています。要介護認定や、認知症のご本人やご家族を支える各種サービスの申請受付等を行っています。

認知症初期集中支援チーム

医師や看護師、薬剤師、作業療法士等の専門職で構成されるチームが、在宅で生活する認知症の方やそのご家族に早期に関わり、認知症になっても自立した生活が送れるようご本人の状態に応じた包括的・集中的支援を提供します。

ものわすれ相談会

お近くの公民館等の会場で、ものわすれや認知症に関する相談に認知症地域支援推進員※が応じ、相談者に適した制度やサポートをご案内します。（※P25 もご覧ください）

介護

介護保険は、加齢による病気などで介護が必要となった方が、費用の一部を負担し、地域で安心した生活が送れるよう支援する制度です。

居宅サービス



自宅を中心に利用するサービスです。ホームヘルパーに自宅を訪問してもらう「訪問介護」や、施設に通って利用する「通所介護（デイサービス）」、一時的に施設に泊まる「短期入所生活介護（ショートステイ）」などがあります。

施設サービス



介護保険施設に入所して受けるサービスです。常に介護が必要で、食事や入浴などの日常生活の介護や健康管理が受けられる「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」や、リハビリに重点を置いた介護が必要な方を対象とする「介護老人保健施設」、医療と介護が一体的に受けられる「介護医療院（介護療養型医療施設）」があります。

地域密着型サービス



原則として、事業所のある市町村の住民だけが利用できるサービスです。通い・訪問・泊まりを柔軟に組み合わせた複合的なサービスが受けられる「小規模多機能型居宅介護」や、認知症の方が施設で共同生活を送る「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」などがあります。

医療

身近なかかりつけ医や認知症専門医のいる認知症疾患医療センターなど、市内には認知症の相談、診断から治療ができる、さまざまな医療機関があります。

認知症疾患医療センター

認知症疾患医療センターは、地域の認知症に関する医療提供体制の中核を担う機関です。認知症の鑑別診断や症状への対応、専門医療相談を実施するほか、認知症サポート医やかかりつけ医、地域包括支援センター等の関係機関と連携し、認知症の方やその家族への支援体制のネットワークづくりを進めています。



公益財団法人磐城済世会

舞子浜病院

電話：0246-39-2201

いわき市平藤間川前 63-1



医療法人社団石福会

四倉病院

電話：0246-32-5321

いわき市四倉町下仁井田南追切 2-2

※診察は予約制となっておりますので、まずは電話でご相談ください

かかりつけ医

かかりつけ医は、健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のことです。認知症を疑った場合も、まずはかかりつけ医に相談しましょう。

認知症の診療を行っている専門医療機関（※）

精神科・脳神経外科・神経内科・心療内科のいずれかを標榜する医療機関のうち、認知症の鑑別診断と治療（薬物療法等）ができる医療機関です。

認知症サポート医（※）

認知症サポート医は、認知症の人の診療に習熟し、かかりつけ医への助言その他の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となる医師です。

認知症対応薬局（※）

処方されたお薬の服薬指導や、日頃の健康相談などの機会を活用して、認知症や軽度認知障害に早期に気づき、受診を勧めたり、かかりつけ医や地域包括支援センターなどの関係機関につなぎ、服薬の確認や多職種と連携した対応により、患者さんやご家族を支える薬局です。

（※）については、「認知症に関する相談先一覧」に掲載しています。
各地域包括支援センター、各地区保健福祉センターの窓口で冊子を受け取る、または、いわき市ホームページ（健康・医療・福祉＞地域包括ケア（介護予防等）＞認知症＞認知症に関する相談先一覧）でご確認ください。



いわき市 HP

地域

介護や医療以外にも、地域で受けられるサポートがあります。認知症になっても安心して日常生活を送れるよう、参加したり利用したりしてみませんか？

集う

ミーティングセンター



認知症と診断された方や、ものわすれの症状が気になる方が集い、日々の生活での思いなどを語りあう場です。また、ミーティングを通じて把握された当事者視点の意見を地域に発信し、「認知症になっても住みよいいわき」を目指して活動しています。

オレンジカフェ以和貴



認知症のご本人やその介護者、認知症に関心のある方などが集い、認知症によって生じた生活や気持ちの変化などを同じ立場の方と共有・共感することのできる交流の場です。福祉や介護の専門職による相談や、認知症の正しい知識の普及啓発も行っています。

つどいの場



高齢者を主とした誰でも参加可能な、地域住民主体の通いの場です。活動内容や活動の頻度は団体によってさまざまですが、主にシルバーリハビリ体操をはじめとした介護予防や健康づくりを目的としたプログラムを実施しています。

認知症の人と家族の会 福島県支部いわき地区会



公益社団法人認知症の人と家族の会は、認知症のご本人やご家族などが任意で加入する全国的な当事者団体です。福島県支部いわき地区会では「つどい」を開催し、認知症のご本人やご家族の交流の場を設けています。

学ぶ

認知症サポーター養成講座



市民一人ひとりが認知症を正しく理解し、認知症のご本人やそのご家族を地域で支えていくことができるよう、認知症のご本人らを温かく見守る「認知症サポーター」の養成を行っています。講座では、認知症の基礎知識や認知症の方への接し方などを学びます。

VR 認知症体験



VR（バーチャル・リアリティ）機器を活用して、自分自身の視覚・聴覚で認知症のいくつかの症状を本人視点で体験できるプログラムです。認知症の方の立場になってみることで、認知症を「じぶんごと」として捉え、考えていただく内容となっています。

支える

認知症地域支援推進員

推進員は、認知症の診断や治療にかかわる関係機関の連携づくりや、認知症の方の社会参加活動のための地域資源づくり、ミーティングセンターやオレンジカフェ以和貴の運営支援、認知症に関する啓発活動などを行っています。いわき市では、地域包括ケア推進課と各地域包括支援センターに配置し、「認知症になっても住みよいいわき」を目指して活動しています。

徘徊高齢者家族支援サービス

徘徊するおそれのある認知症の方のご家族に対し、認知症のご本人に携帯させるGPS端末の初期費用の助成をします。GPS端末を携帯させることで、万が一徘徊した際、位置情報検索によりご本人の早期の発見を可能にし、ご家族の精神的負担の軽減を図ります。

はいかい高齢者等 SOS ネットワーク

認知症等による行方不明事案が発生した際に、警察及びネットワークに加入する関係機関と連携し、行方不明高齢者等の早期発見・早期保護を図ります。また、いわき市防災メールの登録者に一斉に情報配信することで、行方不明高齢者等の一層の早期発見・早期保護を図ります。

成年後見制度

認知症等により判断能力が不十分な方の日常生活を法律的に保護し、安心して生活が送れるようにご本人を支援する制度です。ご本人の判断能力に応じて活用できる内容が異なり、制度を利用する場合には家庭裁判所への申し立てが必要となります。

配食サービス

調理の難しいひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯及び障がい者に対して、栄養バランスに配慮した食事を訪問によりお届けします。これにより定期的に安否確認をするとともに、生活の質の確保を図ります。

緊急通報システム

ひとり暮らし高齢者等に緊急通報装置を貸与することにより、急病などの緊急時の連絡手段を確保し、迅速かつ適切な対応を図ることによって不安感や孤独感の解消を図ります。

その他

● 認知症コールセンター

認知症に関する相談を電話または面接（予約制）で受け付けています。

■ 福島県社会福祉協議会

福島市渡利七社宮 111

相談電話番号：024-522-1122

（10時～16時受付 土日祝日、年末年始除く）

● 福島県若年性認知症相談窓口

福島県からの委託を受けて、若年性認知症コーディネーター（若年性認知症の方やその家族等からの相談や、支援に関わる方の連携ネットワークを調整する者）が、電話または面接（予約制）で受け付けています。

■ 公益財団法人 星総合病院

郡山市向河原町 159-1

相談電話番号：024-983-8406

（9時～17時受付 土日祝日、年末年始除く）

■ 医療法人湖山荘 あずま通りクリニック

福島市栄町 1-28 松ヶ丘ビル 1 F

相談電話番号：024-572-4611

（9時～17時受付 夏季休診日、土日祝日、年末年始除く）

● 若年性認知症コールセンター

厚生労働省の「認知症の医療と生活の質を高める緊急プロジェクト」に基づき設置され、専門的教育を受けた相談員が相談対応をしています。

■ 認知症介護研究・研修大府センター

（社会福祉法人 仁至会 愛知県大府市半月町 3-294）

相談電話番号：0800-100-2707（通話料無料）

（10時～15時受付 日祝日、年末年始除く）

● 若年性認知症の方の雇用支援

■ いわき障害者就業・生活支援センター

（社会福祉法人 いわき福音協会 いわき市平字堂ノ前2）

電話番号：0246-24-1588

■ 福島障害者職業センター

（独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構福島支部 福島市三河北町 7-14）

電話番号：024-526-1005

あとがき

この冊子は、認知症のご本人、ご家族、認知症の専門医、研究者、専門家など多くの人たちの声から作られました。

これまでは、認知症になると「何もわからなくなる」と思われていました。

「体験全体がわからなくなる」と思われていました。

加齢の影響と認知症は明らかに違うと思われていました。

けれど、私たちは、認知症のご本人の声から、

「決してそうではない」ということに気づかされました。

そして、絶望から希望へのプロセスには必ず、

家族や友人、周囲の人たちの支えや配慮があることを知りました。

認知症はだれにでも起こりうることです。

加齢によって脳の機能が衰えない人はいません。

だれもが潜在的な認知症です。

つまり認知症とは、だれにでも訪れる私たちの人生の一部だということです。

この冊子がヒントになり、絶望が希望に変わるきっかけが生まれることを、

私たちは願っています。

お気軽にご相談ください

ご相談等は、最寄りの地域包括支援センターまでご連絡下さい。

平 地域包括支援センター …………… 0246-22-1174

平字梅本 21 (市役所本庁舎内)

中央台サブセンター 中央台高久二丁目 11-2 …………… 0246-38-5831

小名浜 地域包括支援センター …………… 0246-53-4760

小名浜花畑町 34-2 (小名浜支所北分庁舎内)

泉サブセンター 泉町一丁目 8-9 …………… 0246-84-9460

勿来・田人 地域包括支援センター …………… 0246-63-2140

錦町大島 1 (勿来支所内)

常磐・遠野 地域包括支援センター …………… 0246-43-2151

常磐湯本町吹谷 76-1 (常磐支所内)

内郷・好間・三和 地域包括支援センター …… 0246-27-8660

内郷高坂町四方木田 191 (総合保健福祉センター内)

四倉・久之浜大久 地域包括支援センター …… 0246-32-2115

四倉町字西四丁目 11-3 (四倉支所内)

小川・川前 地域包括支援センター …………… 0246-83-1411

小川町高萩字小路尻 19-10 (小川支所内)

平成 30 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業

認知症の人の家族等介護者への効果的な支援のあり方に関する研究事業 冊子「もしも」を参照して制作

令和3年度版 認知症あんしんガイド

令和3年 発行

発行 いわき市保健福祉部地域包括ケア推進課

監修 いわき市地域包括ケア推進会議 高齢者生活安全部会

〒973-8408 いわき市内郷高坂町四方木田 191

電話 0246-27-8575